

ながぬま



— 稲刈り風景 5区 鶴見昭博さん —

平成29年産「ながめま米の館」操業開始

9月19日、平成29年産米の荷受作業を開始しました。昨年より1日早いスタートとなり、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」、「きたくりん」の受入を行いました。



また、本年も引き続き「食への安全・安心・信頼性確保」として、品種判別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い商品を供給してまいります。

平成30年産小麦栽培に向けた現地研修会開催

8月28日、平成30年産小麦栽培に向けた現地研修会を町内4か所で開催し、生産者105名が参加されました。普及センターにご協力をいた

き、全道で発生している「なまぐさ黒穂病」の発生防止に向けた対策や雑草対策についての説明があり、有意義な研修会となりました。



本所大会議室



北長沼支所



西長沼30号倉庫前



舞鶴事業所

全国とうふ品評会 北海道エリア予選会開催

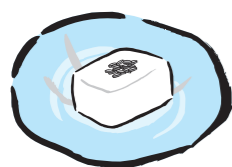
8月5日、ホテルポールスター札幌において北海道豆腐揚商工組合主催による「全国豆腐品評会 第2回北海道地区豆腐品評会」が開催され、審査員として、成田組合長、平田青年部副部長が出席しました。

この品評会は、よせ・きぬ・もめん等の部門ごとに分かれてとうふを審査し、入賞したとうふは9月30日、10月1日に東京で行われる全国大会に進める大会となっております。

閉会時の審査員からの一言で成田組合長は、「生産者が作った農産物がこのようなレベルの高いとうふが出来るということに各とうふ会社の努力を感じるとともに、私たちもより良質な大豆を生産し、供給していきたい」と述べられました。



審査を行う成田組合長(右)、平田副部長(左)



JAながめま青年部 教員農村ホームステイ 事業実施

8月30日、長沼舞鶴小学校の教諭3名が窪田青年部副部長のほ場で農業体験を行いました。この事業は、平成25年よりJA全道青年部協議会が教育現場と農業現場との連携強化と地域活性化を目指し、地元教諭を対象とした農業体験事業で、今年も窪田副部長のほ場でオクラの収穫体験を行いました。

当日は好天に恵まれ、窪田副部長から北海道ではオクラを作ることは難しいことや、長沼町が大豆生産で北海道1位などの説明を聞き、教諭の方々は「オクラは逆様に実をつけるのか」、「長沼町でそんなに大豆が生産されているのは知らなかった」など長沼町の農業について学んでいました。

体験では、オクラの収穫、選別と袋詰めを行うなど、最初は手こずっていましたが、慣れるにつれて手際も良く、楽しく体験してました。



農業体験を行う葛西校長

消防避難訓練を実施

9月8日、消防法施行令により年2回の消防訓練実施が義務付けられ、本所事務所兼Aコープながめま店、本所生産資材事務所、(株)長沼機械センターも含め、通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

この日はそれぞれの事務所、店舗・整備工場内で出火があったとの想定で自動火災報知設備での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う119番への通報・消火活動、事務所や店舗・整備工場内での避難誘導に職員・従業員が参加されました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導による水消火器で車火災時を想定として消火作業を行い、職員は真剣な表情で万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



(株)長沼機械センターにて車火災の消火活動



この日はそれぞれの事務所、店舗・整備工場内で出火があったとの想定で自動火災報知設備での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う119番への通報・消火活動、事務所や店舗・整備工場内での避難誘導に職員・従業員が参加されました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導による水消火器で車火災時を想定として消火作業を行い、職員は真剣な表情で万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。

農協決算報告

事業の概況

平成29年度 上半期事業の概況を報告いたします。

本年は積雪もやや少なく、融雪期は3月30日となり5日早まりました。4月は平年並み、5月は高温に経過し、農作業は順調に行われました。しかし、6月上旬の低温寡照により各作物の生育は停滞しました。6月中旬以降は平年並みの気温となり、さらに7月上旬からの高温多照により、生育は回復し早まりました。

水稻は5月の高温もあり、苗質は平年並みで移植は平年より2日早い5月21日となり、活着も良好でしたが、6月上旬の低温寡照により初期分けつは緩慢となりました。しかし、6月中旬以降平年以上の気温、日照となったため茎数、穂数を確保することができました。前歴期間、冷害危険期共に高温傾向であったため、出穂期も1日早まり、稔実歩合も平年を上回りました。登熟は、8月下旬からの低温により遅れ、成熟期は平年より遅れました。品質、収量は平年並みからやや高い見込みとなっています。

小麦については、融雪がやや早く、起生期で2日早まりましたが、幼穂形成期、止葉期は平年並みとなりました。5月下旬の高温により出穂期は2日早まり、7月上旬からの高温多照により登熟は進み、平年より4日早い7月18日に成熟期となりました。登熟期間がやや短かったこともあり、やや細麦傾向となりました。品質は平年並からやや上回り、収量は平年並みとなっています。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農協経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

信用事業

区分	上期末残高	前年対比
貯金	35,722,483千円	1,365,746千円増加
長・短期貸付金	5,441,320千円	434,108千円減少
受託資金	6,442,206千円	289,388千円減少
計	11,883,526千円	723,496千円減少

共済事業 (生命・終身・こども・建更・年金)

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	78,115,110千円	2,218,590千円減少

販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	394,778千円	50,201千円減少
小麦	36,744千円	23,915千円減少
豆類・その他	56,968千円	23,934千円減少
園芸	1,197,364千円	18,221千円減少
酪畜	447,811千円	29,908千円減少
計	2,133,665千円	146,179千円減少

営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	436,534千円	53,248千円減少
その他資材	1,199,436千円	71,679千円増加
農機具	383,518千円	96,899千円減少
計	2,019,488千円	78,468千円減少

ゲートボール大会開催 ながめま農協年金友の会

9月13日、第23回ながめま農協年金友の会ゲートボール大会が、ながめま温泉屋内ゲートボール場で開催されました。

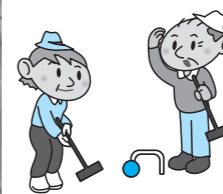
参加者30名による5チーム対抗のリーグ戦が行われ、日頃の練習の成果を発揮すべく熱戦が繰り広げられました。

成績は次の通りです。

優勝 高木チーム
準優勝 矢埜チーム



高木チームのみなさん



JA教育ローン 特別金利キャンペーン

入学金・授業料だけでなく、アパート等の入居費用等にもご利用いただけます。

キャンペーン
期間

平成29年9月1日(金)から
平成30年5月31日(木)まで

キャンペーン
金利

変動金利 1.7%
固定金利 2.0%



※当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきます。
※別途保証機関への保証料がかかります。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

詳しくは管理部金融課までお気軽にご相談ください！
お問い合わせ 管理部金融課 TEL88-2224

今こそJA! その意義と役割

近年、JAグループを巡る報道が多数ある中で、改めて協同組合やJAとはどういうものなのかを再認識するために「今こそJA!」その意義と役割」を連載いたします。

第1回 JAと株式会社の違い

皆さんはJAと株式会社の違いをはっきりと言えるでしょうか?今回はわかっているようでわからないJAと株式会社の違いについて考えてみましょう。

下の図を見てください。株式会社は利潤の追求です。ある会社の社長は「株主に最大の利益をもたらすことが株式会社の社長の責任である」という言葉で株式会社をわかりやすく表現していました。一方、JAの目的は組合員の営農と生活を向上させることであり、営利を目的とはしていません。JA事業で収支がプラスとなった場合、それは利益ではなく剰余金となります。ここが決定的に違います。

また、組織運営を比較すると、株式会社の組織者は株主であり、利用者は不特定の顧客であり、運営者は株主の代理人である取締役社長などの経営者です。JAはどうでしょうか?組織者も利用者も運営者も組合員、すべては組合員の組織であることがわかります。

また、JAと株式会社では組織決定の方法も異なります。株式会社の場合、株式を多く所有する株主が会社を支配することができますが、JAの場合、一人の組合員に与えられる議決権はあくまでも一票です。このことが民主的運営の基盤となっています。

それではJAと株式会社共通点はないのでしょうか?前述のある会社の社長は「成功する人は他人の力を上手に利用できる人である」とも言っています。組織を左右するのは人であるという点においてJAも株式会社と同じといえるかもしれません。

	JA (農業協同組合)	株式会社
目的	組合員の営農と生活を守り向上させること	利潤の追求
組織者	組合員 (= 農業者)	株主 (= 投資家、法人)
利用者	組合員	顧客 (不特定多数)
運営者	組合員 (代表として理事)	経営者 (株主代理人)
運営方法	1人1票制 (民主的運営)	1株1票制 (株主支配)

14号 JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



昨年12月の「農協改革」に関する組合員向け資料に引き続き「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

JA北海道信連



8月に、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin旭川「収穫・料理教室」』をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演等を実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」、「また参加したい」など好評でした。



ホクレン



LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材(飼料や農薬など)の価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン (<http://hokuren-news.jp/>) から登録ください。



JA共済連北海道



8月4日、札幌にて「全道JA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を収めたLA38名と、スマイルサポーター11名が登壇し、表彰しました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック(保障点検活動)」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。

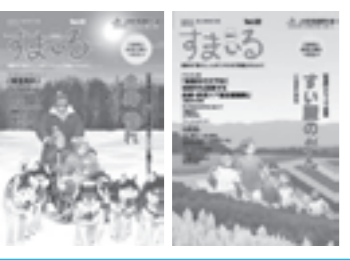


JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧下さい。



地域農業を担う 熱き青年たちとともに!

表紙は毎月全国の青年農業者が登場します。

- タイムリーな農業情勢・農業政策をわかりやすく!
- 活動事例やリーダーのレポートで、JA青年組織の活動の活性化をバックアップ
- 生産・販売の参考となる流通や消費のトレンドをレポート
- 今までもこれから地域農業の担い手の味方!!

定価(税込)
●普通月号 606円
●付録月号(4・11月号) 668円

年2回は別冊付録付き

食と農のウェブマガジン「pikkari(ピッカリ)」で、「若きリーダーの背中」のバックナンバーを掲載しています。また、読者と編集部が交流するフェイスブックも開設しています。

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌 **地上**

お申し込み先 営農経済部 営農企画課 TEL88-2232



公的年金は高てにならない!!不安な老後...
めどせ豊かなセカンドライフ!!



確実に受け取れる安心+増える楽しみ
 契約当初5年間の予定利率0.5%、6年目以降 **1.5%**
 平成29年度適用の予定利率

- 「増える楽しみ」と「減らない安心」積立感覚でお手軽に**
※予定利率の推移によっては、年金額が増えない場合があります。
 ※共済掛金は月々3,000円から加入いただけます。
- 個人年金保険料控除が受けられます**
※所定の条件を満たし、税制適格特約を付加している場合に限りです。
- 簡単な告知でお申し込みできます**
※ご契約にあたり医師の審査は不要です。

ご契約例 加入年齢:25歳 【主契約】●定期年金タイプ ●共済掛金払込終了年齢:60歳 ●年金支払開始年齢:60歳 ●年金支払期間:10年 【特約】●指定代理請求特約 ●税制適格特約
【共済掛金】(平成29年4月現在)月払い1万円(払込共済掛金累計額420万円)

予定利率と年金額

当初5年間の予定利率	0.5%	6年目以降の最低保証予定利率 (平成29年4月現在)	0.75%
------------	-------------	----------------------------	--------------

払込共済掛金累計額4,200,000円

予定利率	■予定利率の変動に成じた年金額の試算		■ご契約時の最低保証年金額	
	当初5年間の予定利率	60歳時の年金額	当初5年間の最低保証予定利率	60歳時の最低保証年金額
0.5%	1.5%の適用の場合	男性 518,976円 女性 518,724円	0.5%	男性 456,287円 女性 456,200円
	1.8%の適用の場合	男性 546,585円 女性 546,268円	0.75%	男性 531,213円 女性 531,213円

この予定利率は、共済掛金の払込方法を年払いもしくは月払いとした場合の予定利率となります。ご契約時の予定利率は、毎年(共済掛金の払込方法が一時的な場合は毎月)設定されます。したがってご契約時期によって適用される予定利率が異なり、最低保証年金額が変更となる場合がありますので、JAまでご確認ください。
 ※予定利率とは、共済掛金積立金を積み立てる際にあらかじめ定められた利率のことです。この共済に適用される予定利率は、ご契約当初5年間は固定ですが、ご契約6年目以降は毎年見直しされます。 ※予定利率は共済掛金積立金にかかものため、お支払いになった共済掛金に必ずしもあてられません。したがって、共済掛金に必ずしも予定利率が反映されません。
 ※年金受取総額は年金支払期間中に全期間年金をお支払いいただいた場合の受取総額を試算しています。 ※右記の表はあくまでも試算であり、将来の年金の受取額をお約束するものではありません。

豊かなセカンドライフへの道しるべ

JA共済 **JA共済** ●お問い合わせはお近くのJAへ
 JA共済 検索 <http://www.ja-kyosai.or.jp>
この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 17019990004

火災共済ご加入の皆様へ
建物更生共済がご加入しやすくなりました!

建物更生共済 むてきプラス のポイント

- 少ない掛金負担** で **最大30倍** まで保障!
- 大きな保障** が可能となりました!
- 実損てん補方式** が新登場しました!
 加入金額まで損害の額が保障されます!

※ 所定の条件があります。地震などによる損害を除きます。

保障の範囲がこれだけ異なります!

	火災などのとき 火災・落雷・盗難など	台風などのとき 風災・ひょう災・雪災・水災	地震などのとき 地震・津波 火山の噴火 地震による火災		満期のとき 満期共済金
建物更生共済 むてきプラス	○	○	○ ※損害の額の50%を限度	○ ※損害の額の50%を限度	○ ※損害の額の50%を限度
火災共済	○	×	×	△	×

※ 盗取による損害は対象外

満期共済金 があって、この掛金!
 さらに、お払込共済掛金は **地震保険料控除** の対象に!

ご契約例※2<住宅保障プラン>

- 住宅物件(建物) ・臨時費用共済金の支払割合30%
- 保障期間30年(継続回数2回) ・実損てん補特約付
- 協定共済価額2,000万円 ・当初10年間の掛金 ・口座振替扱い

満期共済金額100万円 火災共済金額 2,000万円

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	5,864円	6,663円	10,041円
年払掛金	67,386円	76,499円	115,437円

ご契約例※2<家財家具保障プラン>

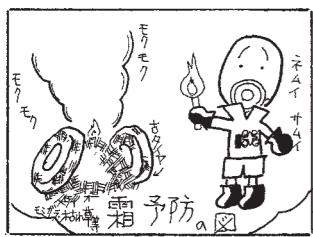
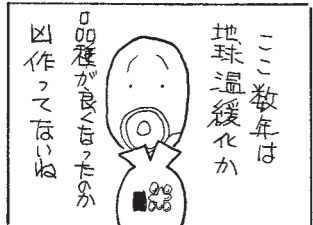
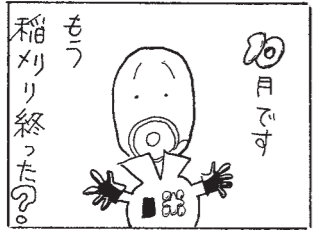
- 住宅物件(住宅内収容家財) ・臨時費用共済金の支払割合30%
- 保障期間30年(継続回数2回) ・当初10年間の掛金
- 口座振替扱い

満期共済金額50万円 火災共済金額 1,000万円

	耐火造A	耐火造B・C (省令準耐火)	木・防火造
月払掛金	2,966円	3,208円	4,511円
年払掛金	34,143円	36,870円	51,889円

※共済金のお支払いには、それぞれ一定の条件・要件がございます。詳しくはJAまでお問い合わせください。
 ※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 <17019990015>

お問い合わせは
JAながめま 金融部共済課 TEL88-2225 **JA共済**



ロータリーブレード 年内予約推進のご案内

来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

JAオリジナルのSP爪・青爪・だんだん爪(楸太陽製)および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

※10月24日～10月27日の日程で、各戸巡回推進へ伺いますので、ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申し付けください。

お問い合わせ 本所資材センター ☎88-2189

団体人間ドック健診日のお知らせ

4月に取りまとめをいたしました、団体人間ドックを10月より行います。

申し込みをされた方には、受診予定日の1ヶ月前にハガキにて健診日のご案内いたしますので、内容をご確認くださいませようお願いします。

ご不明な点がございましたら、営農企画課(88-2226)までご連絡ください。

業務時間変更のお知らせ (11月～3月)

	区分	平日	土曜日	日・祝日	
ながめま農協	一般業務	本所 9:00～17:00	休業	休業	
		北長沼支所 9:00～17:00			
		舞鶴事業所 9:00～17:00			
ながめま農協	貯金・融資(窓口業務)	本所 9:00～15:30	休業	休業	
		北長沼支所 9:00～15:30			
	現金自動支払機(ATM)	本所 9:00～18:00	9:00～16:00	休業	
ながめま農協	現金自動支払機(ATM)	北長沼支所 9:00～16:30	休業	休業	
		舞鶴事業所 9:30～16:30			
		本所 9:00～18:00			
資材センター	本所	9:00～16:30	11月 日直対応(9:00～16:30) 12月以降 休業		
関連会社	(株)ウィズワーク Aコープ店舗	長沼店	10:00～18:30 定休日については店頭表示にてお知らせします。		
		北長沼店	9:00～17:30	9:00～12:30	休業
関連会社	(有)長沼燃料センター	本店事務所	9:00～17:00		日直対応(9:00～17:00)
	ホクレン給油所	長沼給油所	8:00～18:30		第一・三日曜日休業 その他日曜・祝日は日直対応(9:00～17:00)
		北長沼給油所	8:00～18:00	8:00～12:00	休業
関連会社	(株)長沼機械センター		8:00～17:00	日直対応(8:00～17:00)	

私たちは、美味しく安全なJAながめま・ななつぼしを標準使用し、その他農作物も適時に利用してまいります。
ホテルエミシア札幌 〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 011-895-8811 (代表)

理事会報告 - 第9回 -

《平成29年9月7日開催》

[議案]

- 第1号 子会社平成29年度上半期決算報告について
- 第2号 組合と理事との契約承認について
- 第3号 平成29年度上半期決算状況について
- 第4号 平成29年度米概算金の設定について
- 第5号 規程類の改正について

[報告事項]

1. 会議行事報告事項について
2. 主要農産物生育状況について
3. 平成29年産小麦受入れ状況について
4. 野菜・花き共選等の状況について
5. 余裕金の運用状況について
6. 職員に対する定時手当の支給について
7. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数

組合員 1,625名
 正組合員 (842名)
 准組合員 (783名)
 正組合員戸数 746戸

農協の動き 8/23~9/7

8月

23日	空知管内畜産共進会	於	長沼町農村広場
23~25日	第2四半期自治監査	於	農協
24日	共済連推進委員会	於	空知農業会館
25日	不要農機具回収	於	旧南事業所跡
28日	千歳川治水対策促進連合期成会定期総会	於	恵庭市
28~31日	経営所得安定対策最終確認	於	各地区会館
30日	北農健保組合理事・監事選挙会	於	札幌市
30日	北海道土地改良事業団体連合会臨時総会	於	札幌市
30日	空知種いも協議会	於	空知農業会館
31日	空知管内農協組合長会議	於	空知農業会館

9月

1日	空知管内JA全体常参総会議	於	空知農業会館
1日	ながめま土地改良区断水式	於	長沼神社
2日	航空自衛隊長沼分屯基地創立記念式典	於	長沼分屯基地
4日	空知青果物振興協議会	於	空知農業会館
4~6日	長沼町農業農村整備中央要請	於	東京都
5日	空知玉葱共販協議会	於	空知農業会館
7日	事業推進員会議	於	農協
7日	理事会	於	農協

喪中はがき 年賀状印刷



承ります

喪中はがき 10月20日より受付

年賀状 11月1日より受付

Aコープながめま店 ☎88-2222

Aコープ北長沼店 ☎89-2136